



芦屋ユネスコ協会



「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

第11回芦屋ユネスコ協会 世界遺産・地域遺産見学バスツアー 「春の丹後道 天の羽衣伝承封印の歴史を巡る旅」

在原業平風に書きました。

今年の旅は丹後道へお連れいただけることで、久しぶりに北国の春を楽しみにしておりましたところ、東日本大震災が起これ催行が危ぶまれましたが38名の有志の方々で行って参りました。計らず恒例の大学物知り博士、所用で参加できず古の朝臣がご案内と相成りました。午前中は日本で最も古い木造建築の珍しい畳敷きがあるステンドグラスが美しい宮津カトリック教会を訪れた後、午後は天の橋立ホテルで阿蘇の内海を眺めながら午餐をいただき、古き文献を探し出し歴史の闇に埋もれた秘話の元伊勢籠神社をご案内しました。天皇家ゆかりの十六菊家紋の籠神社では、遠い世にこの国を開拓し先人と成られた豊受神が祀られ先祖の御霊に拝礼した次第です。神社で購入したお守りにはなんとイスラエルの国旗と同じ紋様のダビデの星六芒星、籠目(かごめ)紋様が刻まれていました。最後に高台から重要伝統的建造物群保存地区の伊根の舟屋を見ると古の時代に心が戻ったようでした。天の羽衣伝承をめぐり「カゴメカゴメ籠の中の鳥はいついつ出やる夜明けの晩に鶴と亀がすべった後ろの正面だあれ」という童歌をくちずさみながら何度も繰り広げられた政権の闇の歴史にもの言わずひっそり北の海に繋がっている天橋立を車窓横目に帰路についていたのでございます。ホテルですべった鶴子さん、バスにお土産忘れた亀子さんお疲れ様でした。

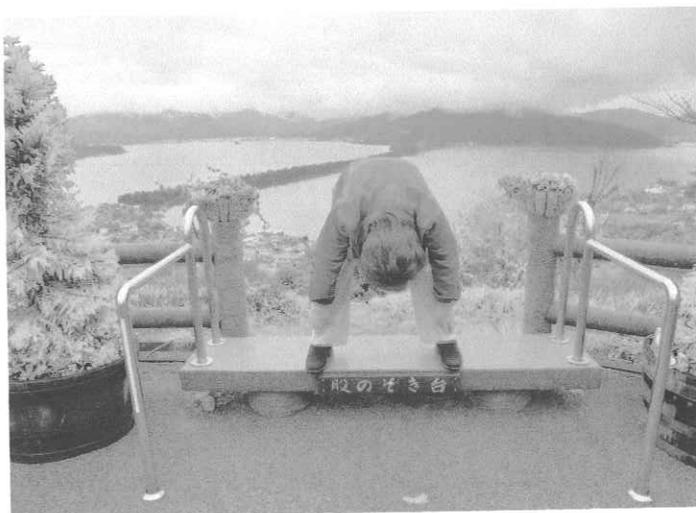
芦屋ユネスコ協会理事中川明





今回の旅行の圧巻は、傘松公園より望む天橋立の景観と股のぞきであった。ここより望まれる景色を「飛龍観」と呼び、龍が天に舞い上がる姿を現していると言われています。天橋立と言えば「股のぞきき」と言われていますが、股のぞきをする
と天地転倒の逆効果により、松並木が空中に浮かんだような錯覚を起こし「天の釣り船とも、天にかける橋」とも言われております。傘松公園から眺めた景観と天橋立ビューランド「飛龍観」からの眺めと言い、まことに自然の文化財と言っても過言ではないでしょう。

天橋立は、日本三景だけあって、「日本の渚百選」「日本の道百選」「日本の名松百選」「日本の白砂青松百選」「美しい日本の歴史的風土百選」にも選ばれておりますが、神代時代からの神話や、平安時代の京の町ではやった民話、それに予想し難いノンフィクション的な封印の歴史の伝承も残されており、景観のみならず興味深い土地柄である。



青年部 第2回 GOOD WILL PARTYの報告

2月12日午後2時から4時半にわたり、芦屋ユネスコ協会青年部主催による環境をテーマにした『環境市民交流会“GOOD WILL PARTY 2nd”』が芦屋市民センター多目的ホールにおいて、来賓・会員50名以上の参加を得て、盛大に開催されました。

廣瀬会長による挨拶では、ユネスコの説明とユネスコ精神である、平和の心を持つことの大切さをお話頂きました。また芦屋大学からも理事長補佐の門 信雄先生や学生数名にお越しいただきまして、先生から環境問題に対する意識を高めることへの重要性についてお話をして頂きました。

はじめに交流イベントとして『普段環境に対して、行っていること』をテーマとしたゲストの自己紹介の時間を設けました。普段環境に対して、こころがけていることや、逆に出来ていないことなど、色んな人とお話す中で考えて頂けたようです。

その次にはモンゴル・ブースと青年部ブースをゲストの皆さんに廻って頂きました。青年部ブースでは、普段青年部で行っている活動内容の案内と、モンゴルブースにおいては羊毛ワークショップを日本人の「しん」さん、モンゴル出身「ダリア」さんご夫妻を講師に開催して頂きました。

モンゴルでは従来、伝統的に羊の放牧により、羊毛を収入源とした生活を送ってこられました。しかし資本主義に変わってから羊から高価で貴重なカシミヤがとれるヤギの放牧へと切り替える遊牧民が増えてきました。しかしカシミヤヤギは、羊とは違って、牧草を根ごと食べてしまうため、草が再生されず、砂漠化の環境問題へとも繋がっています。このことから、羊毛の良さをもっと知って頂くため、普段から、しんさん、ダリアさんは羊毛で小物を作るワークショップを開催しているとのことでした。羊毛の小物づくりを楽しみながら、モンゴルの文化や環境問題について学ぶことができたひと時でした。

そしてWWFジャパン様から環境問題に関するパネル展示と、青年部手作りの世界各国の環境問題について展示を行い、さらに広く、深く環境問題を学ぶ機会となりました。

最後に芦屋ユネスコ協会 塩井副会長からご自身の環境に対する震災の経験をふまえての熱い想いについてお話を頂いた後、青年部長の梶原からの挨拶でこの交流会を終えました。

サポートスタッフのみなさま、ご協力頂いたWWAジャパンさま、他ユネスコ協会会員の皆様、そして芦屋ユネスコ協会の皆様にこのGOOD WILL PARTY開催につきまして多大なご支援を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

重ねて、ご協力頂いた皆様に感謝とお礼を申し上げ 次の「第3回GOOD WILL PARTY」の企画をこれから始めて参りたく存じていますので何卒ご指導・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

(報告： 芦屋ユネスコ協会 青年部 部長 梶原 宣子)



2011年度 総会 出席のお願い

下記の日時で、本年度の総会が開催されますのでご予約ください。

日時: **6月17日(金曜日)午後 5時30分**

場所: **市民センター 301室**

総会終了後、直ちに芦屋市教育委員会の新教育長 福岡 憲助様の **記念講演** があり

その後、隣接の多目的ホールにおいて **会員交流懇親会(パーティー)**を行います。

案内とご返事の往復ハガキを差し上げますので、到着次第、**すぐに出欠の返信をして下さい。**

万一欠席の場合は委任状に必ず署名・捺印して返信して下さい。

2011年度 年会費 納入のお願い

本年度(4月1日～3月31日分)の芦屋ユネスコ協会の年会費未納の方はなるべく早く納入して下さい。
出来るだけ役員さんに現金で届けて頂ければ有難いです。(領収書をすぐにお送りします)

● 銀行に振込んで頂く場合は

三井住友銀行 芦屋駅前支店 普通口座 3901693

口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 廣瀬 忠子

※ 納入の遅くなった方は、6月17日(金)の総会で担当者に現金で納入して下さい。

ご予約頂きたい当面の主要行事と日程.....追って詳細連絡します

- ◎ 6月17日(金)17時30分(市民センター) — 総会・記念講演・会員懇親会
- ◎ 7月19日(火)10時(JR芦屋駅) — 民間ユネスコPR街頭行事(チラシ配布)
- ◎ 8月15日(日)12時(市民センター) — 平和の鐘を鳴らそう行事(含:軽食・懇談会)
- ◎ 10月8日(土)13時(尼崎近松祈念館) — 阪神間ユネスコ協会連絡会「合同事業」
- ◎ 12月21日(火)18時(ホテル竹園) — 一年末講演会&親睦会(ディナー・ビンゴ・エンターテイメント)

日本ユネスコ協会連盟からの東日本大震災の支援募金にご協力をお願い致します
世界寺小屋運動のための「書き損じハガキ」のご提供をお願い致します

編集後記

この度の東日本大震災・・・17年前の阪神大震災を体験している私達は本当に心が痛みます。地震のみならず大津波・原発と今までに考えられないような被害が日本全体を覆っているようです。今、私達になにが出来るのでしょうか？ボランティア？義援金？他にも私達に出来る事は沢山あるようです。こんな時期関西から元気に明るく被災地にメッセージを送りたいと思っています。

6月17日の総会でお会いしましょう。 本荘 美恵